会山行 No.2460

谷川連峰：谷川岳 雪上訓練①

◆日程　2023年12月9日（土)～10日（日）
◆メンバー　L :TY、SD、KN、OB、KM、WY、MZ、NS

雪山シーズンが始まる。厳しくも美しい冬山を前に今年も谷川岳で雪上訓練を行った。今年度の新人も参加してフレッシュなメンバーで雪上技術を確認した。みんなでトレーニングを積んで今年も美しい雪山に出会いたい。（記：TY）

12月9日（土）晴れ

初めての会の泊り山行、そして冬シーズンの幕開けとなる雪上訓練は、晴れで気温も暖かい予報で向えることができました。

5:30に戸塚駅でKMさんの車で迎えに来ていただき、狭山パーキングエリアで他のメンバーの方々と合流し、9:40ごろに谷川岳ロープウェイ駐車場へ到着しました。

各自準備し、ロープウェイで山頂まで行くと、景色がよく隣の山々まで見渡せることができました。また冬山に向けた訓練を行っているパーティが多くいました。

山頂駅に到着後、アイゼンを装着しました。アイゼンを装着後、30分間ほど歩くとテン場候補地へ到着しました。テン場候補地にはすでに2張のテントが設営されており、また雪上訓練から帰る道中に5張以上テントが増えており、その人気さに驚きました。

雪上訓練では、アイゼン・ワカン歩行の練習、滑落停止訓練、耐風姿勢、ビーコン捜索訓練、アンザイレンの練習を行いました。12月の例会での雪崩の講義を教訓に、ビーコンの捜索訓練では少しでも早く見つけることを意識して行ったものの、焦る気持ちや地面とビーコンを平行に保つことがままならず、8~10分ほど経過してビーコンを見つけることが出来ました。実際にビーコンを使う場面だと焦りが増大するため、ビーコン・シャベル・プローブをすぐに出せて使い慣れていることが大切だと実感しました。

練習を終えてテン場へ帰ると、各自身支度を行い宴会の開始となりました。乾杯しておつまみを持ち寄る中、SD さんのシュトーレンが登場し驚きとともに大変感動しました。夜ご飯は、OB さんが用意していただいたお鍋でほっこりとし、とても美味しかったです。

19時すぎに寝る支度のため、外に出ると満点の星空に照らされていました。夜に寒さで目覚めないか少し不安になりつつ、明日を楽しみに就寝しました。（記：MZ）

CT：戸塚駅 5:30 - 谷川岳ロープウェイ駐車場 9:40 - 山頂駅 10:10/10:30 - テン場-10:45/12:00 - 雪上訓練の場所 12:20/15:30 - テン場 15:50

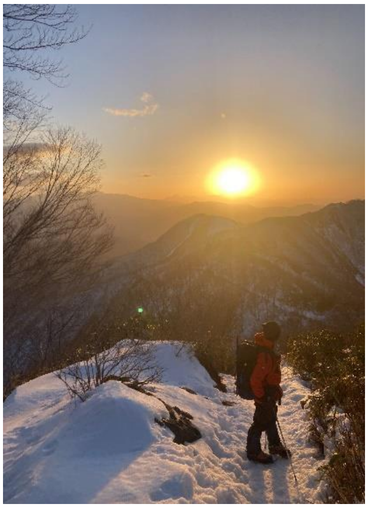
12月10日（日）晴れ

雪上訓練初日の土曜日は快晴で暑いくらいとなりました。夜に風があり、2 日目の天気は心

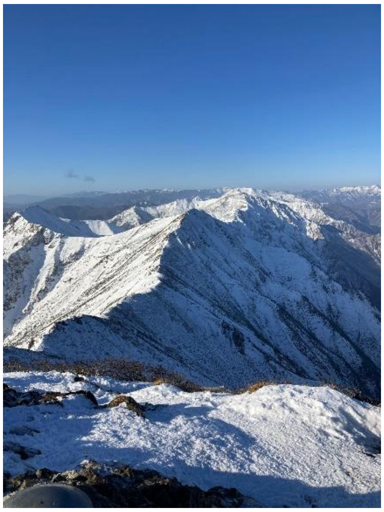
配されましたが、明けてみると快晴となりました。
この日の山行では、荷物をテントにおいてスカスカのザックでの行動となりました。6 時 18 分に出発し、途中きれいな朝焼けを背中側から受けながら、登っていきました。一部に雪がなく、岩や土が露出しており、アイゼンを着用して歩くことに慣れていない私は歩きにくさを感じながらも、順調に進み 8 時すぎに肩の小屋に到着しました。西に伸びるオジカ沢ノ頭、大障子ノ頭への尾根が絶景でした。

天気が良かったため、登りは暑かったのですが、稜線は風があり冬山らしさも感じられる山行でした。その後、トマノ耳、オキノ耳へ向かいます。到着すると先着でいた方もいたのですが、風が強かったため、写真を頼む前に下りられてしまい、トマノ耳では集合写真を取りそこねましたが、オキノ耳は私の後に到着した単独行の方に集合写真を取ってもらいました。

帰りの道では、快晴だったこともあり、次々と登ってくる方とすれ違い、谷川岳の人気の高さを実感しました。雪山は大学生のときに東北の山しか登ったことがないため、すでにトレースがついていて、ラッセルがいらないというのもまた新鮮でとても楽しい山行でした。



朝焼けに照らせる今さん



大障子ノ頭への尾根

谷川岳・肩の小屋

オキノ耳山頂での集合写真

山行後には、湯テルメ・谷川で温泉に入り、帰路につきました。
今回は偶然快晴でしたが、吹雪になることもある雪山を企画してくださるリーダーの皆様には感謝しかありません。ありがとうございました。
（記：NS)

CT　：天神平・天神峠分岐点 6:18 - 6:45 熊穴沢避難小屋 6:53 – 7:28 天狗の留まり場 7:41 – 8:21 谷川岳・肩の小屋 8:39 – 8:45 トマノ耳 8:52 – 9:10 谷川岳オキノ耳 9:17 – 9:32 谷川岳・肩の小屋 9:43 – 10:52 熊穴沢避難小屋 11:00 – 11:21 天神平・天神峠分岐点 12:09 – 12:27 天神平　(実動 4:10)